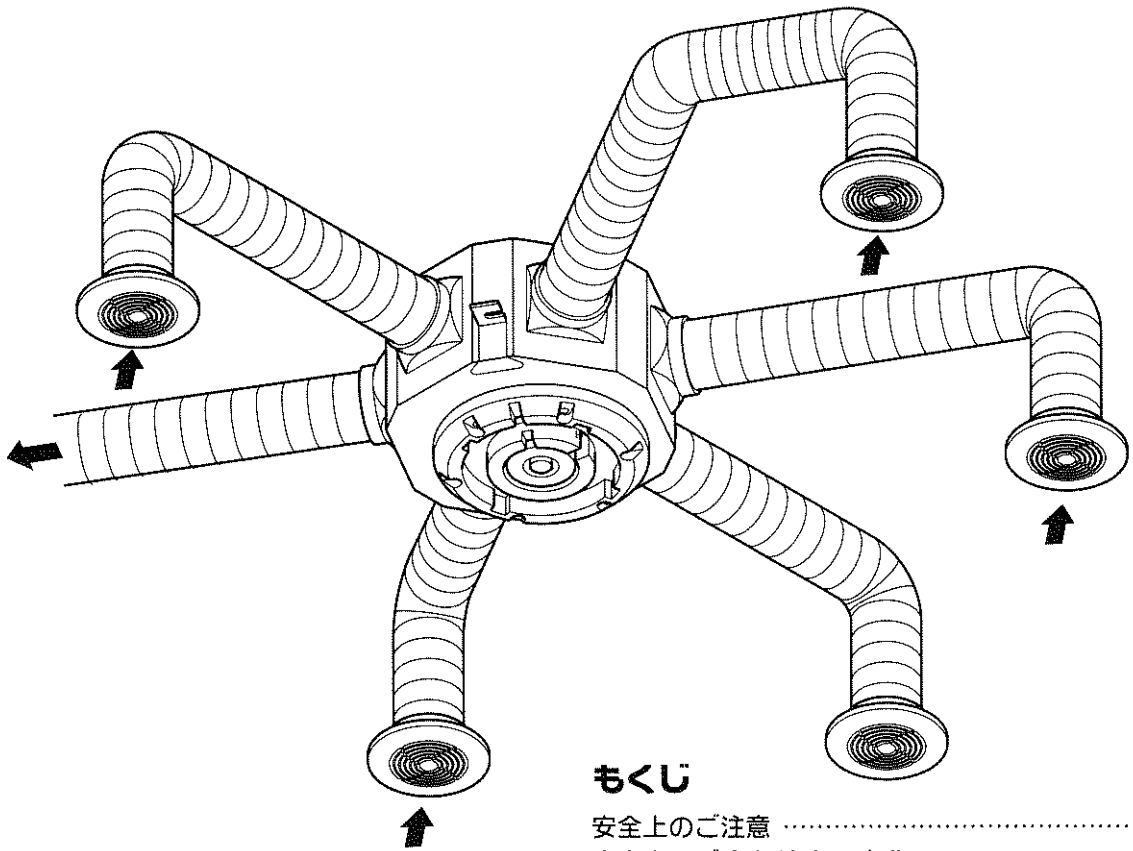


24時間多目的5方向換気システム

エアロードⅢ TSK-5R

取扱説明書 (工事説明書別添付)

この取扱説明書は必ずお客様にお渡し下さい。



もくじ

ページ

安全上のご注意	1
安全上のご注意/各部の名称	2
外形寸法図	3
コントローラーA・Bの選び方/コントローラーAの取り扱い方	4
24時間コントローラーBの取り扱い方	5~8
吸込・給気レジスター各部名称・取り扱い方・お手入れのしかた	9
お手入れの仕方(本体ユニット)	10
仕様/アフターサービス	11


このたびは【24時間多目的5方向換気システム：エアロードⅢ】をお求め頂きまして、誠にありがとうございました。正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読み頂き正しく上手にお使いください。そのあと大切に保管し、ご使用中にわからないことや不都合が生じた時、再読して下さい。

安全上のご注意 必ずお守りください


お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守り頂くことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたとき生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し説明しています。

 **警告** この表示の欄は、【死亡または重傷などを負う可能性が想定される】内容です。


 **注意** この表示の欄は、【傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される】内容です。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し説明しております。(下記は絵表示の一例です。)

 このような絵表示は、してはいけない【禁止】の内容です。

 この絵表示は、必ず実行していただく【強制】の内容です。

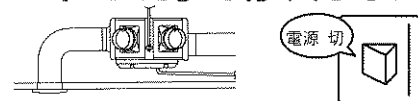
警告

 **絶対に分解したり修理・改造しない**


分解禁止 火災・感電・けがの原因になります。

修理はお買い上げの販売店・工事店へご相談ください。

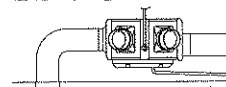
 **お手入れの際は、電源スイッチを切る(ぬれた手で切/入しない)**



感電やけがをすることがあります。

 **本体各部に直接水やお湯・かび取り剤等をかけない**

禁止



ショートや感電の恐れがあります。

 **内釜式風呂を設置した浴室に取り付けない**

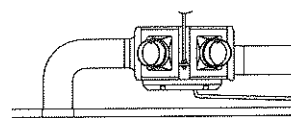
禁止

排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすことがあります。

注意

 **本体はしっかり取り付いているか確認する**

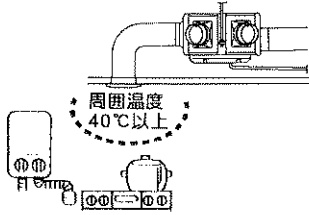
落下により、けがをすることがあります。



お願い

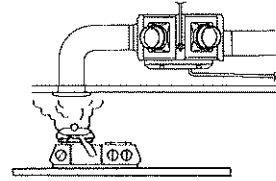
■高温になる場所では使わないで下さい。

製品の変形やモーターの寿命を早めます。



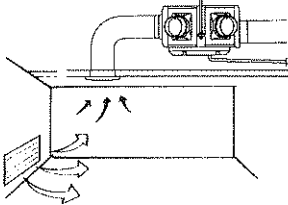
■油煙の多い場所では使わないで下さい。

ルーバーなどの破損の原因となります。



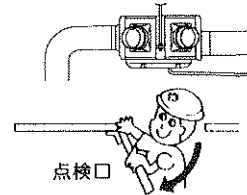
■給気口があるか、ご確認下さい。

効果的な換気できません。

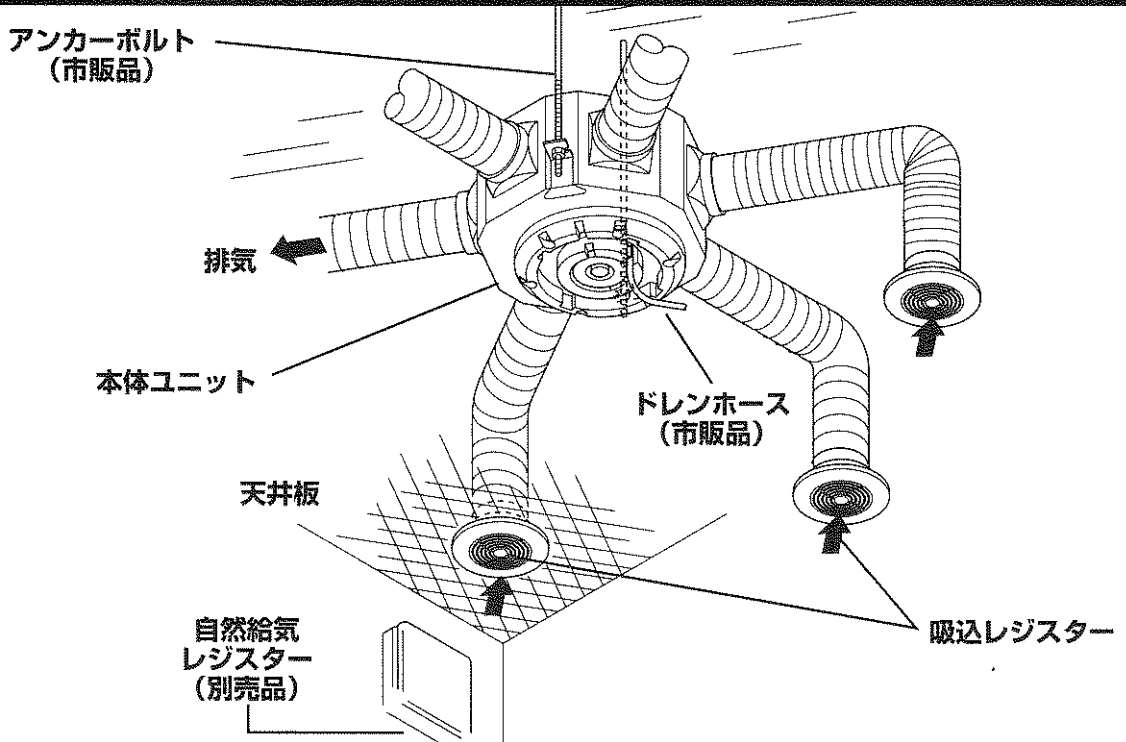


■点検口があるか、ご確認下さい。

保守点検に必要となります。

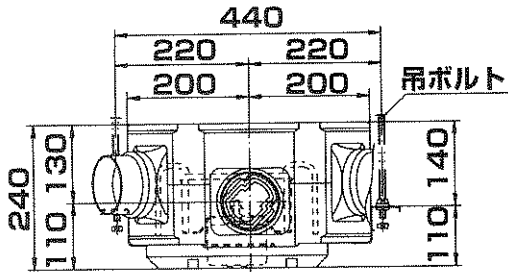
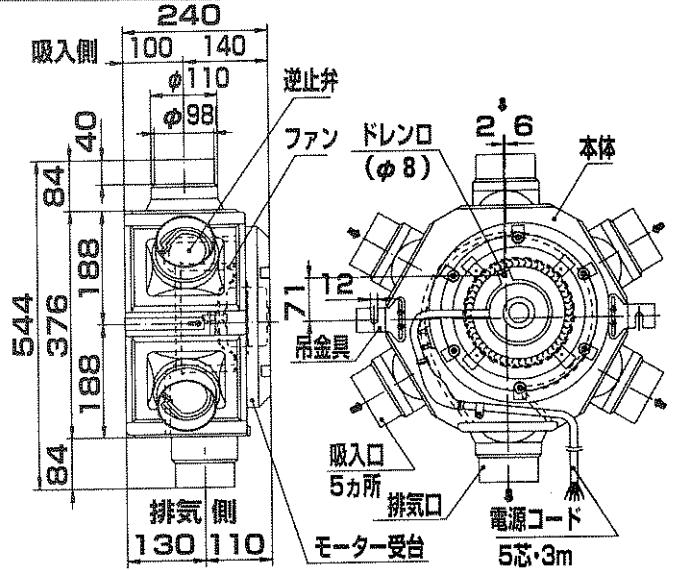
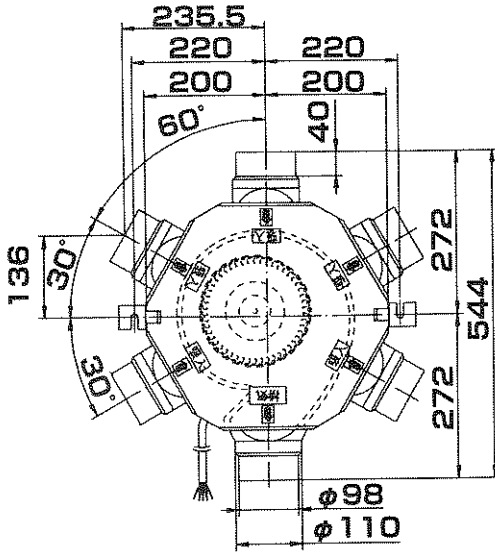


各部の名称



外形寸法図 単位(mm)

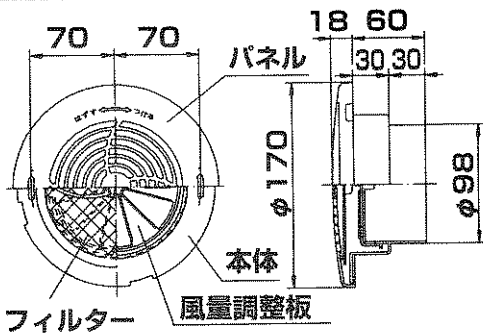
■本体ユニット



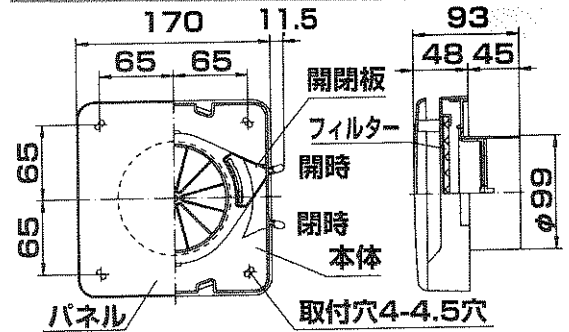
■本体ユニット

- ※付属品
- 吸込レジスター 5個
- メクラキャップ 2個
- 取付ねじ 10本
- 工事取扱説明書 各1部

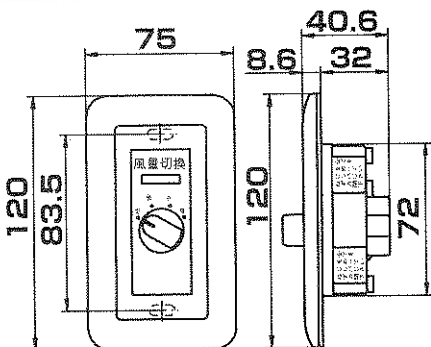
■吸込レジスター



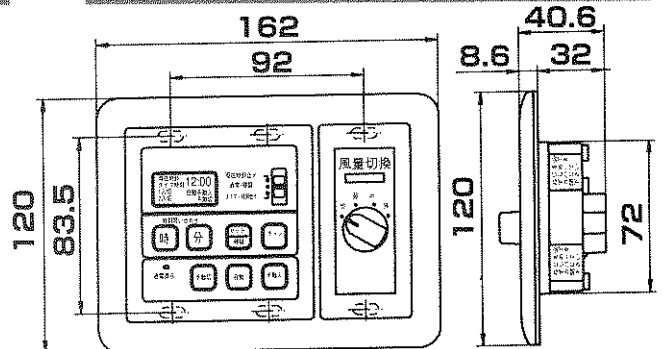
■自然給気レジスター 別売品



■コントローラーA 別売品



■24時間コントローラーB 別売品



コントローラーA・Bの選び方

1. 高気密・高断熱戸建・集合住宅の計画換気として使う場合

- (1) 24時間常時換気運転を行う場合 **コントローラーA**
を使用ください。
- (2) 24時間常時換気運転又は換気運転
時間をタイマー設定で行う場合 **コントローラーB**
を使用ください。

2. 床下強制換気システムとして使う場合

- (1) 運転時間は10時から16時の間を目
安にタイマー設定を行う場合 **コントローラーB**
を使用ください。

3. 天井裏強制換気・熱気排出システムとして使う場合

- (1) 季節ごとに換気運転設定時間をか
えてタイマー設定を行う場合 **コントローラーB**
を使用ください。

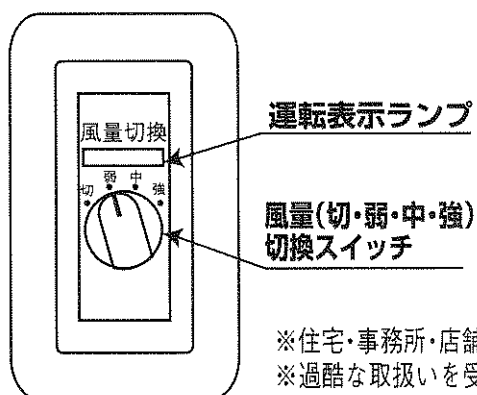
4. 各階・床下・天井裏換気を併用して計画換気として使う場合

- (1) 24時間常時換気運転を行う場合 **コントローラーA**
を使用ください。
- (2) 24時間常時換気運転又は換気運転
時間をタイマー設定で行う場合 **コントローラーB**
を使用ください。

計画換気として使う場合の上手な使い方

- お部屋に新鮮な空気を供給し続け、同時に汚れた空気を屋外に排出するために、連続して運転を続けることをおすすめします。
- 冷暖房していて閉め切りがちな部屋でも、本機を運転することで窓をあけて換気する必要がなくなり、省エネの効果がアップします。

コントローラーAの取り扱い方



1. 連続運転または手動運転のしかた

- (1) 風量(弱・中・強)切換えスイッチを回して風量
選択をします。

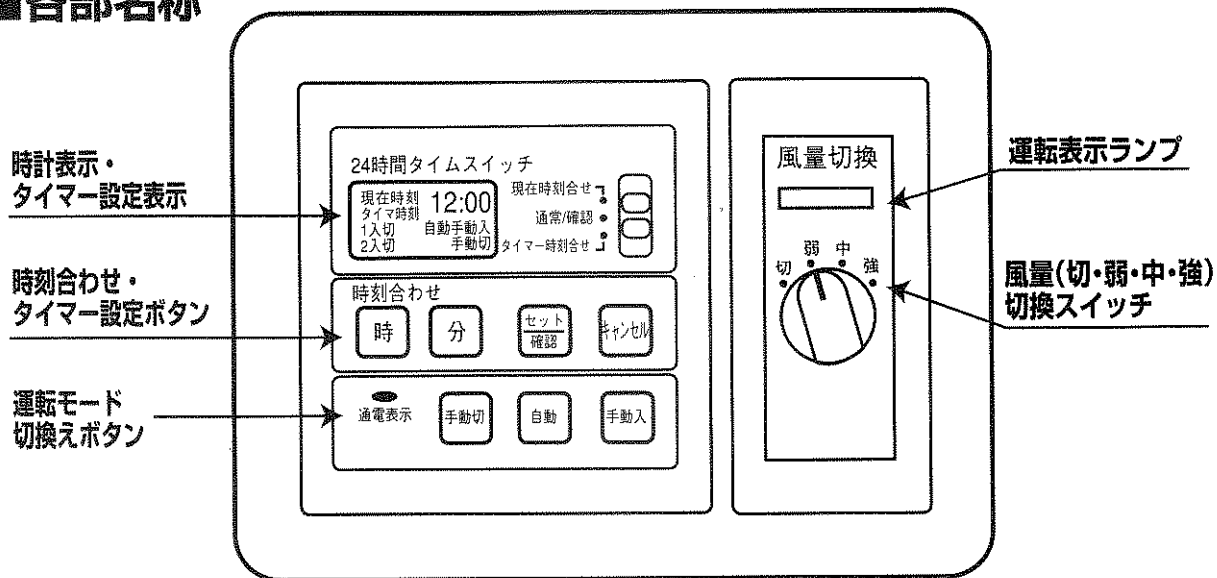
2. 運転停止のしかた

- (1) 風量切換えスイッチを「切」の位置に回します。

※住宅・事務所・店舗などの屋内で使用して下さい。(0℃～35℃)
※過酷な取扱いを受ける作業所、水気のある場所、屋側、屋外などでは使用しないでください。

24時間コントローラーBの取り扱い方

■各部名称



※住宅・事務所・店舗などの屋内で使用して下さい。(0℃～35℃)
 ※過酷な取扱いを受ける作業所、水気のある場所、屋側、屋外などでは使用しないでください。

ご注意

コントローラーに電源を入れてから約5分間は充電中のため表示しません。

1. 現在時刻の合わせかた

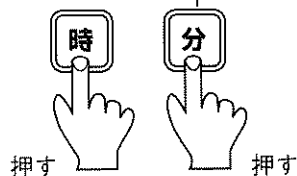
例) 現在時刻を 午前 10時15分に合わせる場合

(1) 時刻合わせスイッチを **現在時刻合わせ** に合わせます。

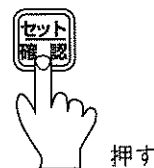


(2) ボタンを押して現在時刻を10時15分に合わせます。

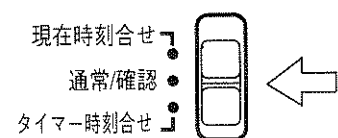
※ :時:分ボタンを2秒以上押し続けると早送り
 で時刻を合わせることができます。



(3) 時刻などを合わせて **セット確認** ボタンを押します。



(4) 時刻合わせスイッチを **通常/確認** に合わせます。

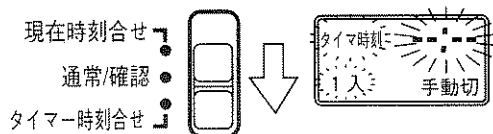


2. タイマー時刻の合わせかた(変更のしかた)

例) タイマー1を 午前 5時20分に **入** - 午前11時30分に **切** にして
 タイマー2を 午後13時15分に **入** - 午後22時45分に **切** にする場合

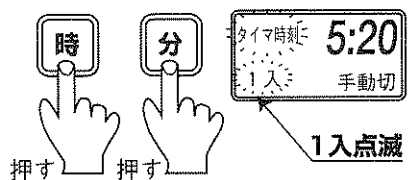
※ **入**・**切** が1日に2回設定できます。 ※ **入**または **切**、時刻のみの設定は出来ません。

(1) 時刻合わせスイッチを **タイマー時刻合わせ** に合わせます。

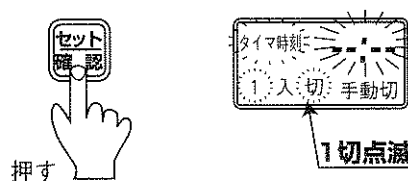


(2) タイマー1の **入** 時刻を5時20分に合わせます。

※ :時:分ボタンを2秒以上押し続けると早送りで時刻を合わせることができます。

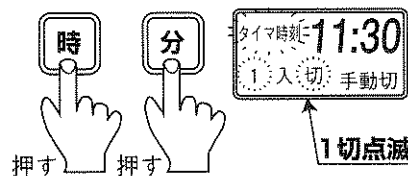


(3) **セット確認** ボタンを押し、**入** 時刻をセットします。

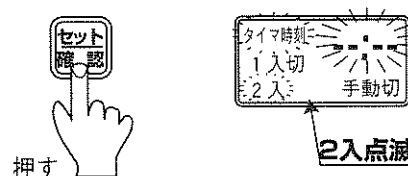


(4) タイマー1の **切** 時刻を11時30分に合わせます。

※ :時:分ボタンを2秒以上押し続けると早送りで時刻を合わせることができます。

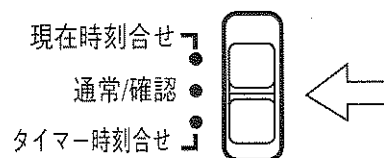


(5) **セット確認** ボタンを押し、**切** 時刻をセットします。



(6) タイマー2の **入切** 時刻を(2)から(5)の操作手順で行います。

(7) 時刻合わせスイッチを **通常/確認** に合わせます。



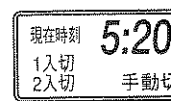
ご注意

- 設定しようとする**入**時刻から**切**時刻の間でタイマー設定を行った場合は**手動入**を押してから**自動**を押して下さい、**入**の状態で作動します。
- タイマーが自動で**入**動作中のときに、タイマー設定を変更すると、最初の**切**時刻がくるまで**入**状態になります。
- 設定してからは変更内容で動作させたいときは、**手動切**を押してから**自動**を押して下さい。

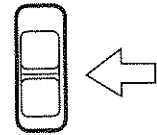
24時間コントローラーBの取り扱い方(つづき)

3.タイマー時刻の確認のしかた

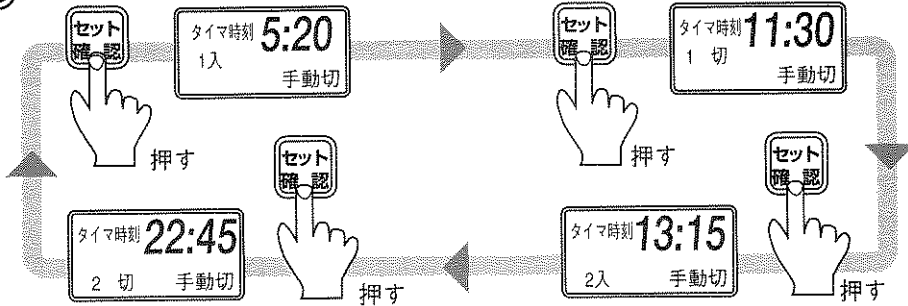
- (1)時刻合わせスイッチを
通常/確認に合わせます。



現在時刻合せ
通常/確認
タイマー時刻合せ



- (2) **セット確認** ボタンを押して、セット時間を確認します。



※ **セット確認** ボタンを押してから3秒後に現在時刻表示にもどります。

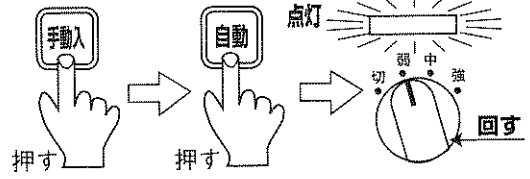
4.自動運転のしかた

■設定時間内に自動運転する場合



ボタンを押して、
風量(弱・中・強)切換え
スイッチを回して風量選
択をします。

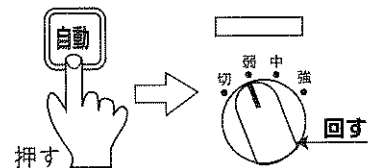
※風量切換えスイッチが切の位置にあると動きません。



■設定時間外に自動運転する場合



ボタンを押して、風量(弱・中・強)切換
えスイッチを回して風量選
択をします。

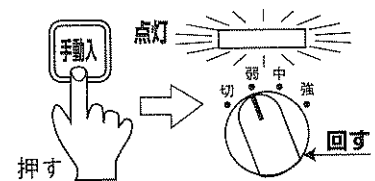


5.連続運転または手動運転のしかた



ボタンを押して、風量(弱・中・強)切換
えスイッチを回して風量選
択をします。

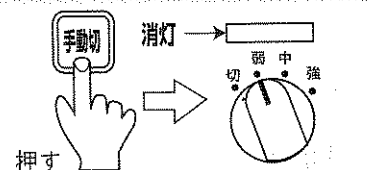
※風量切換えスイッチが切の位置にあると動きません。



6.運転停止のしかた



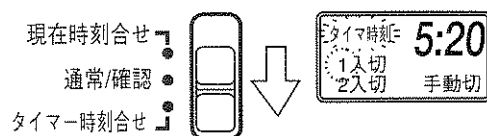
ボタンを押します。



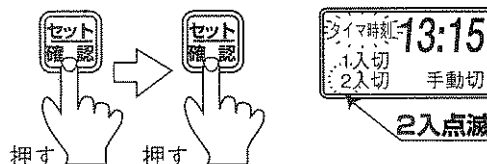
7. タイマー時刻の取消しかた

例) タイマー2の設定時刻を取り消す場合

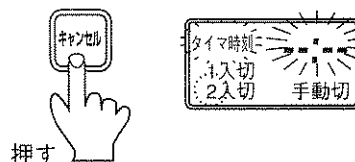
- (1) 時刻合わせスイッチを **タイマー時刻合わせ** に合わせます。



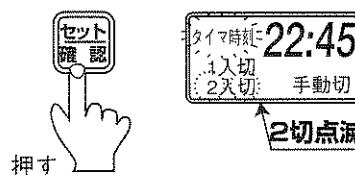
- (2) タイマー2の **入** 時刻にします。



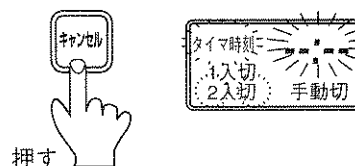
- (3) **キャンセル** ボタンを押して、セット時間を取消します。



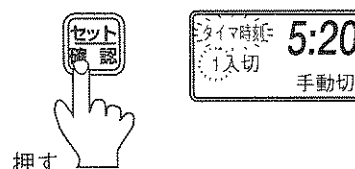
- (4) タイマー2の **切** 時刻にします。



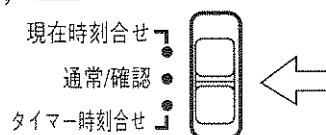
- (5) **キャンセル** ボタンを押して、セット時間を取消します。



- (6) **セット確認** ボタンを押します。



- (7) 時刻合わせスイッチを **通常/確認** に合わせます。



ご注意

自動で **入** または **切** 動作中にタイマー設定の内容すべて(タイマー1・タイマー2)取り消すと自動的に **手動入** または **自動切** になります。

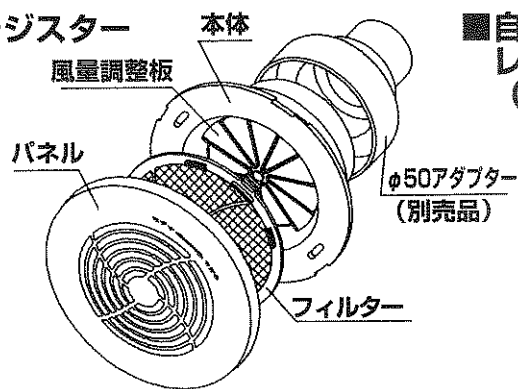
入 動作中：タイマー時刻を取り消すと **自動** → **手動入** **切** 動作中：タイマー時刻を取り消すと **自動** → **手動切**

8. 正しくご使用いただくために

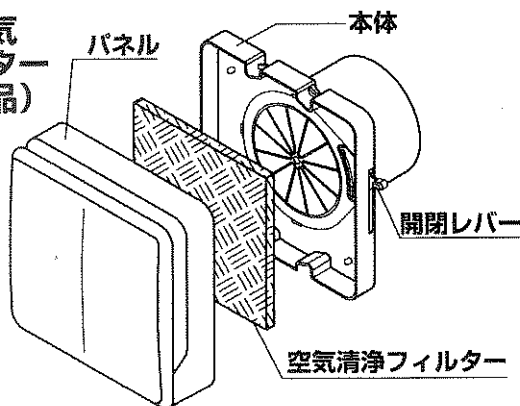
- (1) このコントローラーは **入** 動作優先です。タイマー1・2の設定時刻は重複しないようにして下さい。
- (2) **自動**で **入** **切** する場合、時刻合わせスイッチを通常/確認の位置にしてください。他の位置では **自動** ボタンを押しても動作しません。
- (3) 20時間以上停電が続いたときは、今までセットされていた現在時刻とタイマー時刻が消えてしまいます。コントローラーに通電され、現在時刻が点滅する場合は再度、現在時刻とタイマー時刻を合わせてください。

レジスター各部名称

■吸込レジスター



■自然給気レジスター (別売品)



■自然給気レジスターの使い方

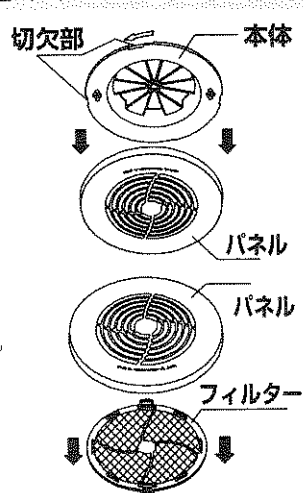
- 通常は開閉レバーを最後まで上に動かし、【開】の状態にてご使用ください。
- 外の騒音が気になる場合や降雪が吹き込む場合には開閉レバーを下に動かして【閉】の状態にして下さい。

お手入れのしかた

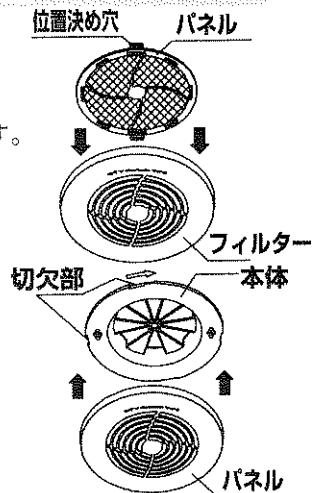
■お手入れの際は、しっかりした台を足場にして、必ず手袋を着用しけがなどをしてしないよう充分気をつけて作業して下さい。

吸込レジスターお手入れのしかた (1ヵ月から3ヵ月に1回)

1. パネルを左【はずす】に最後まで回して手前に引いて取り外します。
2. パネルの汚れを水又は台所用洗剤に浸した布で拭き取る。
3. フィルターを手前に引いてパネルから取り外します。
4. 掃除機でほこりを吸い取る。汚れのひどい場合は、洗剤を入れたぬるま湯に浸し、すすぎ洗いをして自然乾燥させる。

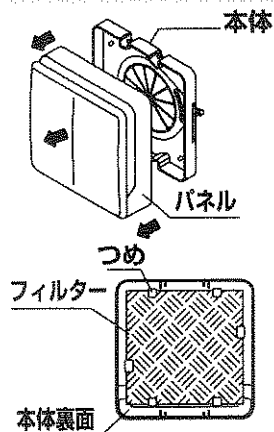


5. フィルターの位置決め穴とパネルのリップを合わせてフィルター全体を押しつけて取り付けます。
6. パネル裏面のつめ4ヵ所を本体の切欠部に合わせて入れて【つける】に最後まで回して、パネルを確実に取り付けます。

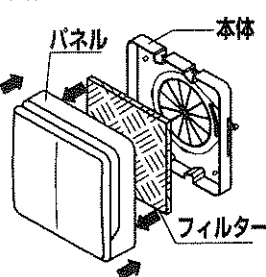


自然給気レジスターお手入れのしかた (3ヵ月から6ヵ月に1回)

1. パネルの両側を持って手前に引いてパネルをはずします。
2. パネルの汚れを水又は台所用洗剤に浸した布で拭き取る。
3. フィルターを6ヵ所のつめから取り外します。
4. 掃除機でほこりを吸い取る。汚れのひどい場合は、洗剤を入れたぬるま湯に浸し押し洗いをして自然乾燥させる。



5. フィルターをつめ6ヵ所にはめ込んで取り付ける。
6. パネルのフック部を本体の引っ掛け部に確実に取り付ける。



※フィルターは5,6回のお手入れを目安に交換して下さい。
※取替用フィルターは代理店又は販売店でお買い求め下さい。

本体ユニットお手入れのしかた

■本体ユニットの内部にほこりが付着しますと、故障・騒音・寿命を縮める原因となりますので定期的に工事店またはサービス会社に点検・掃除を依頼して下さい。

(1) お手入れの前に必ず電源スイッチを切ってください。

(2) 点検口をあけて、モーター配線コネクターと電源コードコネクターを外してください。

(3) ドライバーを使ってファンユニットのねじ6本を外して下さい。

※ねじ・ワッシャーをなくさないようにしてください。

(4) ファンユニットのミゾ部(2カ所)を持って手前に引いて外して下さい。

(5) ファンユニット・本体内部のほこりを台所洗剤に浸した布又はブラシ付ノズルをつけた掃除機で掃除してください。

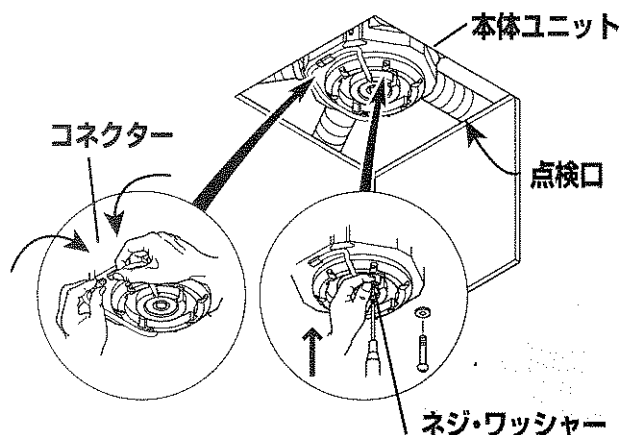
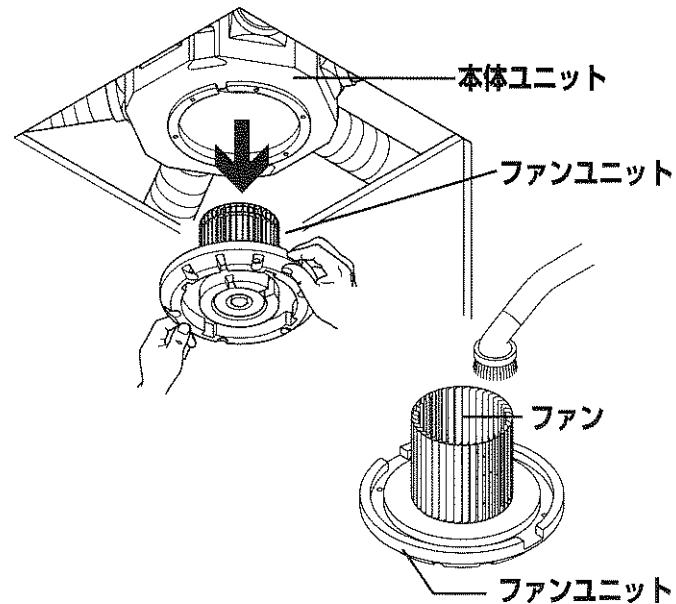
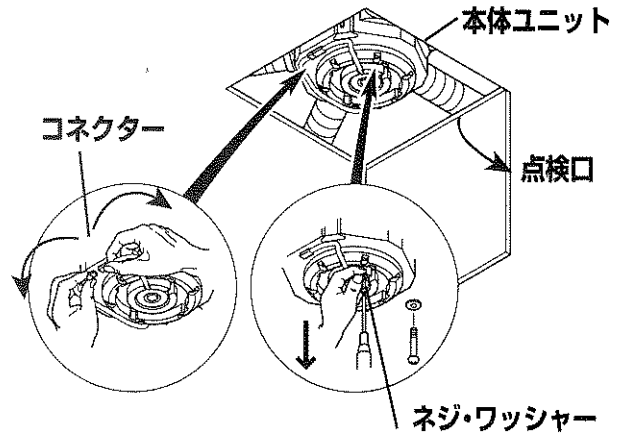
(6) 掃除が終わりましたら、逆の順番でファンユニットを本体に挿入して、ワッシャー・ねじ6本を確実に締め付けて下さい。

(7) モーター配線コネクターと電源コードコネクターを確実に差し込んで下さい。

※差し込みが不十分ですと運転ができません。

(8) 取付け後、運転をして異常音がしないか、風が正常に吸い込まれているか、確認して下さい。

(9) 最後に点検口を確実に閉めて、運転を開始して下さい。



仕様

■特性表

品名	定格電圧 V	運転 モード	周波数 Hz	消費電力 W	換気風量 m ³ /H	騒音 dB	重量 Kg	シャッター 形式
TSK-5R	100	弱	50	27	215	31	3.9	風圧式
			60	29	205	30		
		中	50	33	275	36		
			60	37	265	35		
		強	50	36	320	39		
			60	42	310	38		

ご注意 上記数値は機外制圧0Paにおける数値を示します。

修理を依頼される前に

 **長年のご使用の換気システムの点検を！**

ご使用の際このようなことはありませんか？

●スイッチを入れても羽根が回転しない。



ブレーカーは切れていませんか？
または停電ではありませんか？



●運転中に異常音や振動がある。

●回転が遅いまたは不規則。
●こげ臭いにおいがする。



本体・グリルが確実に
取付けられていますか？

点検・
処置をしても
直らない
時は

使用中止

**電源を切って
必ず販売店に
点検・修理を
ご依頼下さい。**

費用については
販売店とご相談
ください。

修理アフターサービス

換気システムのアフターサービスは、お買い上げの販売店へお申しつけください。
なお、おわかりにならないときは、保証書（取付・取扱説明書に同封）に明記された連絡先にお問い合わせ下さい。

■補修用性能部品の最低保有期間

換気システムの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後6年です。
この期間は通商産業省の指導によるものです。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

この製品には地球環境保護の一環として再資源化ができるように主なプラスチック部品に材質を表示しています。

材質名は主材料のISO規定の略号を使用

お客様メモ	形式	エアロードⅢ TSK-5R
	お買上げ年月日	
	お買上げ店名 (住所) (電話番号)	年 月 日 () _____

サービスを依頼されるときに便利です。